

平成 30 年 3 月 24 日

熊本港から有明海の干潟の見学会

平成 29 年 3 月 16 日、湿地・沿岸域研究委員会主催の見学会に参加しました。水環境学会シンポジウムが熊本大学で開催されたこともあり、学会 2 日目の午後に、塩谷海岸、百貫港、熊本港を見学しました。

最初に国土交通省九州地方整備局熊本港・空港整備事務所の熊本新港分室に移動し、熊本港干潟・浅場の造成実証試験について説明を受けました。平成 28 年 8 月に熊本港に造成された干潟と浅場は、有明海や八代海にかつて存在していた高潮帯などの干潟環境を、浚渫土砂等によって再現しており、大規模な実証実験が行われている様子を観察できました。浚渫土+砂 (+2.5m)、浚渫土+砂 (+3.0m)、上層砂、下層浚渫土 (+3.5m)、浚渫土のみ (+4.0m) の 4 段階に高さを変えた干潟・浅場が再現され、実証試験が行われていました。

今回は、国土交通省九州地方整備局熊本港・空港整備事務所のみなさまにご案内いただき、充実した見学会となりました。



講義室で熊本港干潟・浅場の造成実証試験についての説明を受けている様子



干潟・浅場の再生実証試験の現場を見学する様子



再現された干潟の様子



50 cmごとに4段階に高さを変えた干潟・浅場が再現されていた

京都大学地球環境学堂 田中周平